

エポマリンSHB

EPOMARINE SHB

一般名称		超厚膜形エポキシ樹脂塗料			
適用規格		—			
系統		超厚膜形ポリアミド硬化エポキシ樹脂塗料(2液形)			
主な用途		【橋梁用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
	○	×	×	×	×
特長		1)耐水性・耐薬品性に優れている。 2)耐衝撃性に優れている。 3)1回塗りで300μm以上の厚塗りができ、タレやワレがなく付着性に優れている。			
塗料性状	塗料密度(比重)	1.47(グレー)			
	溶剤密度(比重)	0.87			
	加熱残分	83%(グレー)			
法令など	ベース		硬化剤		
	劇物表示 (品名・含有率)	—		—	
	労安法上の 表示有害物	キシレン、エチルベンゼン		キシレン、エチルベンゼン	
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等		第2種有機溶剤等	
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)		第2石油類(非水溶性)	
	硬化剤の成分 による区分	変性ポリアミドアミン			
	ホルムアルデヒド 放散等級	—			
製品情報	ベース		硬化剤		
	荷姿	18kgセット 4.2kgセット	15kg 3.5kg	3kg 0.7kg	
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=5:1			
	主な色(色相)	グレー(N-70近似)、ライトグレー(N-85近似)、ブラック(N-1近似) ブラウン(15-20B近似)、※ブラック・ブラウン18kgセットのみ ※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。			
	素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。			
使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合したのち使用する。			
	熟成時間	不要			
	使用シンナー	テクトEPシンナー			
	希釈率(重量比)	エアレス: 3~5wt% ハケ・ローラー: 0wt%			
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 チップNO.	10MPa(100kg/cm ²)以上 163-521~725		(日本グレイ社製)

エポマリンSHB

EPOMARINE SHB

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	300	425	1200
ハケ・ローラー塗り	300	425	1000

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		10℃	20℃	30℃	40℃		
乾燥時間	指触	16時間	5時間	2時間	2時間		
	半硬化	48時間	16時間	8時間	8時間		
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	24時間	16時間	16時間		
	最長	10日	10日	7日	7日		
可使時間		7時間	5時間	3時間	1時間		

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジソク、エポマリンプライマー、エスコなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: エスコ、エポマリン、レタン中塗E、セラテクトU、F中塗など

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	71.3	1.4
	5	65.7	1.5

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で

希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。

※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。

○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。

高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 1)被塗面の異物(研削材・ダスト・油脂汚れ・水分)や粉化物などは完全に除去してください。

注意事項 2)5℃以下(塗装後、2～3時間以内にその温度が予想される場合も同様)では塗装を避けること。

3)高温で混合量が多くなると化学反応が促進され、使用期限が短くなります。

4)ハケ塗りの場合はなるべく硬い毛の刷毛を使用してください。

5)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いってください。

本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。

6)便覧、HBS、HDK、FKDIは、ハケ塗りを基本とします。

NEXCOのg-2.3 1種仕様はエアレススプレー塗装を適用します。

7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。